

①5/27 健康学科4年生 4班・・・荒村寺 禅教室(伊丹市)

(学習報告)13:00~15:00 時間設定 最初30分は座禅の説明 60分座禅 30分は質疑応答基本は座禅の考え方の説明 班のメンバーの評価は高かった 申し込みは個人単位でねっ申し込みの必要 人数が10人以上だと厳しい

②5/24 健康学科3年生 5班・・・宝塚市立病院市民講座(宝塚市ソリオホール)

(学習報告) テーマ「最近の眼科医療(特に加齢に伴う疾患)」

フィールドワークの推奨イベントに宝塚市民病院講座が入っていたおかげで今回素晴らしい講座を聴講できた。話として理解できたが 自分より患っていないのでわからない用語も多くあった。白内障は水晶体の混濁で高齢者の半数以上が患っており治療は点眼が主で手術は根本敵治療であることを理解した。緑内障は初期には自覚がなく症状がでてからも進行を抑えることしかできず残念ながら根治は無理 定期的な眼科検診で早期の発見が必要と感じた。 質問時間コーナーでは、現在受診している人からの切ない思いを強く感じた。 最後に講演したドクターの方から 眼科手術は目だけを出して全身を覆っている状態で話を進めてゆくのぞ 難聴の患者さんの場合は あらかじめ耳鼻科を受診して補聴器等で改善しないと手術はうまくできないとのこと 目の手術に耳鼻科が絡むとは驚き。 この講座は我々高齢者にも非常に役立つと思う 次回は9月で テーマは腎臓病 カレッジより多くの方々へ聴講を促していただきたいと思いますので 次回のチラシも添付します。

③5/24 健康学科2年生 個人・・・宝塚市立病院市民講座(宝塚市ソリオホール)

(学習報告) テーマ「最近の眼科医療(特に加齢に伴う疾患)」

白内障 視覚障害の原因疾患 1 緑内障 40.1% 2 網膜色素編成 13.0% 3 糖尿病勢網膜症 10.2% 4 加齢黄斑変性等 60才台 15.3%70歳代 28.2%80才台 29.6% 水晶体の混濁 カメラのレンズに例えればレンズの濁り 60オになれば6割の人に生じている 加齢による変化だが 若年者でも外傷・糖尿病・ステロイド・アトピー性皮膚炎など

④5/29 健康学科1年生 1班・・・介護付有料老人ホーム宝塚エデンの園(宝塚市)

(学習報告) テーマ「介護付有料老人ホームの見学」

高齢者の住まい 民間施設・福祉施設の色々について又有料老人ホームとサービス付高齢者向け住宅について幅広く知識吸収できた 目からうろこで会った。設備の見学では、施設によりいろいろあり 費用もあり 事前にしっかりと調べることが重要とのお話があった 百聞は一見に如かず・・・現地での説明専門知識は詳しく聞くことは大切と思った。

⑤5/16 健康学科2年生 2班・・・武庫川女子大学 甲子園会館(西宮市)

(学習報告) テーマ「歴史的建築物の見学」

甲子園会館は、かつて東の帝国ホテルに対して、西の甲子園ホテルと呼ばれ、日本に残る数少ないライト式の建築です。特に、2つの塔を備えた外観、館内の構造、装飾は当時の姿が残っており、その建築美に

驚くとともに記憶に残るものでした。見学には事前予約が必要ですが、案内の方が懇切丁寧に外観と館内について説明していただき、2班全員が甲子園会館の歴史について楽しく学ぶことができました。建築物に興味のある方は、必見と思います。

見学は無料です

⑥5/30 健康学科1年生 3班・・・てっちゃん工房 (神戸市)

(学習報告) テーマ「かまぼこ ちくわ作り体験」

てっちゃん工房の方のきめ細やかなご指導でかまぼこ ちくわ が出来上がりました 製造過程の見学は無かったです 1600円の少し高めの参加料 シニア割引があればうれしいです

⑦6/11 健康学科2年生 2班/5班・・・有岡城 旧岡田家住宅・酒蔵・旧石橋家住宅、市立伊丹ミュージアム、猪名野神社他(伊丹市)

(学習報告) テーマ「伊丹の史跡・重要文化財と清酒発祥の歴史を学ぶ」

あいにくの雨天であったが 事前に依頼していた「伊丹市文化財ボランティアの会」所属の3名のガイドさんによる熱心かつ精力的な説明により きわめて濃いフィールドワークとなった。悪天候を考慮して当初のルートを若干変更(割愛)せざるをえなかったが 天候が回復した午後には見学を再開し 当初のルートを無事完走することができた。昼食は白雪ブルワリーレストラン「長寿蔵」において親睦会をかね会食し 多少のアルコールの影響も手伝って全員が極めて楽しい時間を過ごすことができた。できれば今後も同様のフィールドワークを実施し 視察先・訪問先への理解と造詣を深めるとともにさらなるメンバー相互の親睦を図りたい

⑧6/13 健康学科2年生 4班 菊正宗酒造 (神戸市)

(学習報告) テーマ「五感で楽しむ灘の酒蔵」

6月13日(金)初めてのフィールドワーク「五感で楽しむ灘の酒蔵」が無事行われました。日本酒と酒米の聖地である兵庫 灘の酒蔵について 見て、聴いて、触れて、匂って、味わって・・・五感で楽しみながら、4班の交流も深められたでしょうか

⑨6/7 健康学科2年生 有志 湊川隧道 神戸海外移住と文化の交流センター・神戸市華僑歴史博物館 (神戸市)

(学習報告)

①湊川隧道 隧道の中の空気が冷たい中 歴史の説明もふりとても勉強になりました。幻想的な雰囲気を感じる建造物いつまでも残してほしい 移住ミュージアム ブラジルへの移住者の大変な歴史の説明を受け夢をもつて移住された方々のその後の思い少し暗い気分になりました。いろいろな歴史を知ることの大切さを改めて感じました。

②湊川隧道 初めて内部に入りました 大規模な湊川一帯の付け替え工事として 事業家たちが実行した企画・行動力 明治の土木建築工事技術に感心しました 移住ミュージアム 神戸にいながら初めて知りました 異人館近くにブラジル移民の拠点があり 神戸から多くの人たちが地球の裏側(西回り)移住し

開拓の道は相当過酷で厳しかったことには感慨深いものがあります

③**神戸華僑歴史博物館** 神戸の中華街の南京町の西安門から歩いて3分程度の場所にこの博物館はある。神戸旧居留地の近代建築ビル群の近くの建物の2階にあり 中国人が神戸にやってきた歴史 所以「神戸架橋」の歴史を1898年移住のことを写真、書籍頭を中心に紹介している 日ごろ南京町に中華料理を食べに出向く人は多いと思うが 時間のある方は一度は足を延ばして神戸華僑の歴史をしるチャンスに触れてほしいと思った次第 入館料はシニア割引で200円。

④**湊川隧道** 授業で初めて「隧道」という言葉を知りました 明治時代のトンネルの名称で 湊川隧道は明治34年8月に竣工。阪神大震災まで河川トンネルとして活用されていた様ですが 震災にも倒壊することなく高度な土木建築を有していたことに驚くばかりでした。今はボランティアの方々のご尽力で月1どコンサートがひらかれているようでトンネル内の音響を楽しめるようです。

⑨6/11 健康学科4年生 3班 神戸海洋博物館カワサキワールドと南京町(神戸市)

(学習報告)

神戸海洋博物館 船のしくみやクルーズ船の魅力 港湾の歴史等をジオラマ模型等で紹介 入り口に設置されている巨大な帆船の模型が圧巻。その他の模型も精巧で素晴らしかった コンテナを船上からトラックに下すゲームもあり 楽しかった **カワサキワールド** 川崎重工業グループの企業ミュージアム 船舶 鉄道 航空機 モーターサイクル 各分野で活躍する同社のテクノロジーの歴史を実物や映像で紹介 長い歴史の中 多くの分野で活躍してきた同社に驚きだつた 各種ゲームがあり子どもも大人も楽しめる施設だった 入館料 大人900円 (JAF イオンカード等で割引あり)

⑩6/30 健康学科1年生 3班 森永乳業神戸工場 (神戸市)

(学習報告)

初めてフィールドワークに参加! 3人だけだったが、工場見学は他のグループ(小学生15人程やその保護者何人か、また他小グループ)合同の30人ほど一緒に、約1時間。個人的には、この種の業界の見学は珍しかったので印象深く新鮮だった。田舎の郷里に明治乳業の工場があったが、考えてみると当時は郷里の殆どの農家が乳牛を飼っていて、その牛乳を回収してあの工場が成り立っていたんだと。現在では普通の農家がそんな形で乳牛を飼ってる事はまずなく、世の中の変化を気付かされた。ここは北海道等からの牛乳のタンカーが工場に横付けされる由商品化は殆ど自動化されていて、機械の合間にポツポツとオペレータを見かけるといった感じ。事前説明で、乳牛は1日60~70Lの水を飲み、20~30Lの牛乳を産すると。そうなんだとなんとなくわかったような納得感。

⑪7/6 健康学科1年生 6班 竹中大工道具館 (神戸市)

(学習報告)

【選定経緯】当該施設で学んだ後 京都・奈良の寺院建築を訪れる外国人が多いとのマスコミ紹介を受けて 地元民としても一度は体験したいとの要望もあり 経験者からも好評であったため 本施設を選定した。

【展示内容】・古代から現代に至る道具の歴史 ・大工道具の標準編成 ・唐招提寺模型 茶室模型 ・棟梁に学ぶモノづくりの心 ・木を活かす伝統の知恵 ・職人技が詰め込まれた模型 他

【印象に残った諸点】 ・山が多く木に恵まれた日本の自然が木造建築を発展させる根源となった ・「木を買わず 山を買え」一つの山の木をもってお堂を作れ 木曾の木 吉野の木というように木を混ぜず自然のままにもちいよ ・木を活かす 木の癖を読むという精神がなければ 法隆寺や薬師寺は現存していなかったかもしれない。 ・一流の棟梁は 40 本以上の のみとかんなを持ち 最適な道具を使用する。

【所感】日本の豊かな自然が育んだ木を活かし 匠が培った技を駆使してそれを歴史を重ねた道具が支えることで 我が国の木造建築というものづくりを発展させるとともに 我が国の美意識をも形成してきた。日本人であることに多少の誇りを感じる一方で この文化や美意識を後世に伝えて行くことの大変さに思いを馳せた。

⑫7/29

健康学科 1 年生 3 班 キリンビール神戸工場 (神戸市)

(学習報告)

麒麟ビールの主力製品「一番搾り」の開発コンセプト 特長 原料 製造工程 流通梱包などを学ぶ 70 分のガイドツアー 最後に 3 種類のビールの試飲を楽しむことができた 価値ある一人 500 円の参加費だった 日本人が会食する場合 「まずビール」最も身近なアルコール飲料であり 美味しさの背景やより美味しく味わえる秘訣を知ることが生活に潤いを与えてくれる 近代的な生産設備を備える一方 職人芸を極めたマイスターが開発に果たす役割の大きさも紹介されていた シニアにとっては心強い ビールと健康の関係では 糖質 0 のビールを開発した例を教えてもらった また 人口減少への対策としては世界 40 ヶ国で生産しているという。

工場詳細は以下参照

<https://www.kirin.co.jp/experience/factory/kobe/>

⑬6/11 健康学科 4 年生 4 班 ヨドコウ迎賓館 (芦屋市)

(学習報告)

○フィールドワーク実施当日、健康学科 4 年 4 班 7 名でヨドコウ迎賓館に見学に行った 当日 雨が少し降っていたが 阪急芦屋川駅で待ち合わせをし 少し坂道を登っていった。 ヨドコウ迎賓館の設計はフランク・ロイド・ライトで建築の巨匠と知られているらしい。建物自体は 100 年前に建築されたものとは思えず 格式のある立派な建物であった。特に応接室などの壁に沿った飾り銅板は見事であった。屋上のバルコニーからは六甲山 大阪湾を展望できるはずであったが この日はあいにくの雨で景色は見えず残念であった。機会があれば晴天の日に訪れたい所であります。

○訪れたのは雨の日でしたが駅から徒歩 10 分位の坂路でしたが徒歩でも大丈夫でした この迎賓館は 1918 年フランクロイド・ライドによって設計され 1924 年に建築された 6 軒のうち唯一当時の姿をとどめているものです 重要文化財にしていされています 装飾も独特なもので重要文化財に指定されている

もので 4Fまで楽しめました 窓からの眺めもすばらしく見学以外にも市民に開放されているときもあるのでうらやましく思いました。

⑭9/16 健康学科1年生 2班 キューピー神戸工場 (神戸市)

(学習報告)

P工場は広大な敷地に非常にきれいな建物で衛生管理がの良さをうかがわせていた。大量に使用される卵の黄身以外はマヨネーズ作りには不要なのだが白身は練り製品、殻は肥料など余すこと無く利用されている。試食においては多様なマヨネーズ、ドレッシングを美味しく試食させていただいた。食の安全への追及、SDGsへの取り組み、美味しさへの自信等を感じることができる食品メーカーならではの工場見学ができた。フィールドワークのような機会が無ければ無縁であったかもしれない施設を楽しく見学できたのは貴重な体験だと思います。

⑮9/30 健康学科2年生 3班 神戸布引ハーブ園 (神戸市)

(学習報告)

いつもお世話になり、有難うございます。早速ですが、本日健康3班7名で、添付の案内書の通り「神戸布引ハーブ園」にてフィールドワークを実施しましたので、ご報告いたします。幸い、天候にも恵まれ、皆久し振りに気持ち良く巡回出来ました。香りの資料館ではあまりの数の多さで、極一部を除く、匂いを嗅ぎ分けられませんでした。ラベンダーの花の匂いは余り感じられなかったのですが、別のラベンダー園では花は皆無でしたが、沢山の茎だけで良く匂っていました。参加者の一人は数種の葉を手でヌルヌルするまで触って、手の匂いを 嗅いだら、夫々その植物の実(例えばレモン)の香りをよく感じられたとの感想を言っていました。退園前のエリアでは全員夫々ハンモックに横になり、暫くりラックス しました。楽しい1日でした。

⑯9/27(土) 健康学科3年生 4班 宝塚市民病院 市民講座「腎臓病のおはなし」

○今回の講座を通じて 改めて腎臓病に対して認識させられました 特に日ごろの運動 食事の大切さに気が付きがあり 今後は日常生活に活かしより健康に心がけたいと考えます

○(腎臓とその疾患について)若かりし頃 勤務していた職場に透析されていた人が2名おられ週に3回午後になると早退して病院に通われていて 大変な病気もあるんだなと感じたことを思い出した 今日講座を受講して共感したのは 年を重ねるといろんな臓器の機能が低下するのは止むをえないひと。自分の身体の異変を感じたら早めの手当を講じ 日ごろの運動とバランスのとれた食事をすることが どんな病気にも共通することを改めて感じました。

○慢性腎臓病に罹患しています 私には運動療法 食事療法が大変参考になりました 日々の生活に取り入れて病気と付き合いまいこうと思います。

○今回受講して現役の先生たちに教えてもらって大変勉強になりました 昔と今とでは 医療現場でも考え方が180度変わったり 日々進化しているのだなと思いました 食生活や運動など気かけながら 毎日を過ごしていこうと思いました。

○病気になると ほぼ最初に加齢ですねと片付けられます 腎臓に結石がひとつありますが 今のところ なかともないです 腎臓病を予防するための日ごろ食事 運動療法等の大切さを再認識できました。

○腎臓病について 医師 理学療法士 管理栄養士らによる各種の療法について 興味深く拝聴いたしました 今後は減塩に努力します。

○腎臓病について 友人のご主人が透析をされ大変な生活と聞いていましたので 講座で食事 運動など 様々なことを知ることができて良かったとおもいました。

○教養としての受講以上に 現在切実に腎臓病に対して知識・対策を得たいと多くの方が受講されていた ようです 講義後の質問コーナーでも一定時間が確保されており幾つかの質問が活発に各講師に対してさ れていました 医療という目的は同じでも複数講師(医師 理学療法士 管理栄養士)の講義は 腎臓病を より立体的に理解するのに役立ちました。

⑩9/30 健康学科2年生 2・5班 「道修町ミュージアムストリート」田辺三菱製薬資料館・塩野 義製薬本社展示コーナー・くすりの道修町資料館・少彦名神社 「適塾」 「大阪取引所(旧大阪証券取引 所)」 その他 大阪市

(学習報告)

「第一回 FW」(伊丹市:6月11日実施)に続く「第二回 FW」として前回同様に2・5班合同で行った 「田辺三菱製薬資料館」では同社の創業からの沿革と企業活動について専属ガイドから詳細の説明を受け 「塩野義製薬本社」では展示パネルで同社の歴史資料を見学 「くすりの道修町資料館」では 多くの展 示資料から 道修町全体の歴史とこれまでの成り立ちに関して学ぶことができた

又「適塾」では 緒方洪庵とその門下生達が幕末に洋学と医学の勉強に取り組んだ足跡に触れることがで きた。参加のメンバーの中に現役時代 同地域で勤務された方もおられ 極めて効率の良いラウンドと なり 恒例の昼食会含めて 貴重な懇親と親睦の機会となった。可能ならば年度内に第三回 FW を企画 したい。

⑪10/27 健康学科1年生 4班 菊正宗酒造記念館(神戸市 東灘区)

(学習報告)

酒造展示室は工程ごとに配置され、そこで実際に使用した道具や設備を丁寧に説明していただきました。 菊正宗本来の生酏(きもと)づくりの心を堪能いたしました。班員全員が参加したことによって4班の親 睦が図れました。

⑫10/14 健康学科1年生 5班 日本銀行神戸支店(神戸市)

(学習報告)

健康学科1年5班の第1回目のフィールドワークとして みなさんのあまり行ったことのない しかし 一 度は経験しておい方が良くと思い 日本銀行(神戸支店)の見学に行きました 班の中には3名の元銀行員 もいて 中には入行したころ現金受けに行った経験がある方もいましたが 見学は新鮮なものでした ま た 金融機関に縁のなかった方も 日銀の業務内容を説明したDVDを見たり また 偽造紙幣防止技術

の説明を受けました。また、展示ルームでは、1億円や1千万円の重さを体験したり、貨幣のマス振り体験など貴重な経験ができました。最後に、日銀の支店内部の見学や阪神・淡路大震災当時における「日銀神戸支店の対応」について紹介があり、大変興味深い話を聞くことができました。終了後のランチ懇親会では健康談義に花が咲きました。

⑬6/11 健康学科4年生 4班 ヨドコウ迎賓館 (芦屋市)

(学習報告)

建物は、大正7年にフランクロイドライトによって設計されて、大正13年に完成した実に見事な建築物である。1階から4階までの応接室、和室、家族寝室から使用人室にいたるまで、実に細かく配慮され、何回も訪れたい建物である。特に驚いたのは、たくさんの通風孔が見られた。日本の湿度の高さを配慮し、建物の中に湿気がこもらないようにしたのだろう。

⑭11/12 健康学科1年生 1班 キリンビール神戸工場 (三田市)

(学習報告)

一番搾りの原料・ビールまでの工程を学んだ。500円の入場料でビール3種(3杯)いただけるのはなかなかよかった。広々としたレストランで食事。三田駅⇄工場のシャトルバス利用。

⑮11/11 健康学科2年生 1班 人と防災未来センター (神戸市)

(学習報告)

今後30年以内に発生する確率が高いと言われる南海トラフ巨大地震に私たちはどう備えるべきか、問題意識をもって神戸の「人と防災未来センター」をフィールドワークとして訪れました。ビルの壁面に記されている、一番被害をうけると言われている高知県の最大津波高の想定34.4mの高さに圧倒されました。1995年の阪神淡路大震災の後に、記憶をとどめるために創られた記念館ですが、震災に遭われた人々の声やどのように生き延びたかの証言を知ることができます。また、内陸地震と海底地震の違い、津波はどのように起こるかなど地震に関することが学べます。防災グッズとして必要な物の展示なども参考になりました。

⑯11/11 健康学科1年生 4班 人と防災未来センター (神戸市)

(学習報告)

改めて防災の意識を強く持った反面、阪神淡路大震災がよみがえりつらい気持ちになった。中学生の団体見学があったが、彼らがどのような印象をもったか気になるところ。

⑰11/18 健康学科1年生 5班 尼崎城 桜井神社 初島神社 尼信会館 ボランティアガイド付 (尼崎市)

(学習報告)

今期一番の寒気がと言われる中の尼崎街歩き見学5班2回目のフィールドワーク。9名参加。とても近い

尼崎なのに その歴史や神社・お寺の成り立ちなども知らない場所 ボランティアガイドさん4名(内2名研修中)もついて下さり とても丁寧で楽しい説明で2時間歩きとおしてあったが あっという間に終わってしまった。特に築地にある初島大神宮では神主さんにもお話しいたきしめ縄づくりも体験させてくださった 大神宮と言われる由縁や社殿の造りのみごとなし 重厚な扉の中におさめられたお神輿を見せていただいたこと 大変感銘をうけた。

⑱11/11 健康学科3年生 2班 大ゴッホ展 神戸市立博物館(神戸市)

(学習報告)

2班の男子3名女子3名計6名で大ゴッホ展に行ってきました 神戸新聞の女性記者がゴッホゆかりの地オランダ、パリの現地に行き取材した記事を切り抜いたり NHK TVでゴッホの生涯の番組を見ていたので とてもたのしみにしていました 苦難な人生に立ち向かう ゴッホの多くの作品を見ることができました 前半は暗い作品が多く やがて夜のカフェテラスのような明るい作品へと変わっていく様子もよくわかりました。特に印象に残った作品は有名な自画像でした「本物を見た」と思いました 人物画 静止画 細かい線の風刺画も美しい景色を思わせる作品でした シニアカレッジの仲間と神戸に出かけ 芸術の秋にふさわしい1日を過ごし楽しかったです 仲間意識も深まり良かったと思います。

⑲12/3 健康学科1年生 2班 カップヌードルミュージアム (池田市)

チキンラーメンファクトリーに参加 まずは作成の工程をビデオで見てからの体験スタート 小麦粉をねるところから始めて 自分だけのチキンラーメンを楽しみながら手作りできました 包装紙に自分だけの絵をかくのもなかなか日常ではないことでもおもしろかったです。

⑳12/3 健康学科4年生 5班 キリンビール神戸工場 (神戸市)

ここ神戸工場は 下記の醸造哲学に基づきすべての活動を行っている

- ・生への畏敬:ビール原料である麦芽 ホップ 水といった自然の恵みに敬意を払い環境に配慮したものづくり
- ・Brewing(醸造)の精神:ものをつくっているのではなく 醸造プロセスにおける酵母などの微生物との向き合い方にも通じる ものづくりの真摯な姿勢
- ・五感の重視:味 香り 見た目など五感を重視したビールの提供を追求します

一番搾りは原料と製法にこだわりをもって作られます 原料は噛むほどに甘みを感じる高品質な麦芽を1.5倍使用 ホップは海外産と東北産も使用 キリンの使用する酵母800種類の中から選ばれた酵母を使用 製法は雑味のない一番搾り麦汁のみ(他のビールは二番搾り麦汁も使用)を使用するこだわり 発酵貯蔵のプロセスは巨大な発酵槽(直径8m 高さ18.2mの円柱タンクで容量は460kl)で約1週間貯蔵槽で約1~2ヶ月間寝かせて出荷される

パッケージングは国内最速の2000本/分の装置と完全自動化 AIの検査で徹底した品質管理を行い 製造ラインに数人のみ働いている

(所感と学び)五感重視の人間の感性とAI機械化により進化している現場 収支明るい雰囲気でも他グループとも一緒に楽しく見学できた 駅からも送迎バスがあり アクセス面でも配慮された工場でした 説明員

さんありがとう 以上

②11/18 健康学科 2 年生 兵庫県立芸術文化センター なるほどバックステージツアー2025 (西宮市)

なるほど「建物と仕事人」

(感想)講演実施のために いろいろな職種の人がそれぞれの専門性をもって仕事をされていることが分かりました。また いつも入ることのできないエリア(楽屋 舞台裏 防災に関わる場所等)にも行くことができた。大ホールや中ホールのステージから見る客席は非日常空間でした。

②1/29 健康学科 1 年生 5 班 鷦野飛行場跡など戦争遺跡群巡りを通じ平和学習 一乗寺 (加西市)

(感想)広島に原爆投下された昭和 20 年 8 月 6 日に私が育った西宮にも空襲があったことを昨年度鳴尾高校生が作成したドキュメンタリー映画がありそれがきっかけで知ることになる その報告発表会で「戦闘機」の部品をつくっていたのが川西航空機製作所があったから 西宮が米軍の攻撃目標になったことも知る その戦闘機紫電改の実物模型の展示や多くの戦争遺跡群とともに加西市鷦野にあることを知り 8 月 15 日終戦の日に個人的に訪れた。

後に鹿児島知覧にて特攻隊として飛び立つ若いパイロットの操縦訓練を行うべく鷦野飛行場が作られた歴史は「戦争を知らない私たち」が次世代に伝承しなければと フィールドワークの目的地とした 大画面での映像や現存する戦跡はおおいる語り部として 大切な平和教育をしてくれるのではないだろうか 子どもや孫と共に訪れられることをおすすめする また 飛行機や鉄道マニア 気球が大空を飛ぶ姿も見られていろんな事が楽しめると思う 酒蔵を改築してのレストランでの食事 西国第 26 番札所一乗寺の国宝三重塔もすばらしく行ってよかったと改めて感じた。